

「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」

使徒 1 : 8

今から 421 年前の 2 月 5 日、時の権力者太閤秀吉によるキリシタン弾圧の為捕らえられたキリシタンが長崎の西坂の丘で十字架にかけられ殉教しました。この 26 聖人殉教記念聖会が今年も行われましたが、この聖会を通して改めて、人間はこの地上では旅人であり寄留者であり永遠の存在であるということを教えられました。26 聖人がただ我慢してその苦しみを忍んだではありません。彼らは深いどうしようもない人間の罪を赦し身代わりに十字架で死んで下さったイエス・キリストの絶大な愛を知っていました！！だから自分の命を奪う秀吉を赦し、友であったけれど今処刑する側にいる寺澤半三郎や槍で殺そうとする役人を赦すことができました。そして、自分たちが受けている救いは、この世の富や命には比べられないほどの絶大な永遠の宝であり、それを彼らにも受けて欲しかったのです。

私も西坂の丘に行く前までは殉教というと何か悲慘な怖いもののように思っていました。しかしここに来てみて、天国のきよいどこまでも平安な喜びは何にも代えがたい宝であるということが分かったのです。秀吉は本当は見せしめのために 26 人を十字架に掛けて、キリシタンになったらこんな苦しい目にあうぞ！と脅していたのですが、見物人はかえって彼らを見て天国が本当にある事を知ったのです！ルドビゴやアントニオの歌う讃美歌に合わせて 4000 人といわれる見物人が共に賛美しました。私もあんなになりたい！あの喜びは本物だ！と多くの人々がキリシタンになったそうです。

今年の西坂の丘は例年にないほど寒く風も強かったのですが、他に代えがたい貴重な時間でした。特別賛美やメッセージ、礼拝を通して、裏方で準備して下さったスタッフお一人お一人、とりなしてくださった祈り全てが一つとなり、そこに救いと天の喜び、感謝と賛美が溢れていました。私たちはこのようなことを見聞きした証人として立てられ、召されています。これからも様々な問題がゆるされ、困難も起こるでしょう。しかし私たちに命をお与えになられた神様の愛は尽きることがなく、私たちに最善を成して下さるでしょう。祈り聖霊に満たされ、み言葉に従ってそれを体験して証しする主の証人となりましょう！！「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。」再臨の時は近いのです。

TLCCC 主の十字架クリスチャンセンター The Lord's Cross Christian Center

FRH 天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師: イエス・キリスト ノア勝裕 & 和子



Siloam

2018 年 2 月 11 日 No.984



(シロアム : 遣わされた者 ヨハネ 9 : 7)

新年度の御言葉

マルコによる福音書 11 : 24

イエスは答えて言われた。

「神を信じなさい。まことに、あなたがたに告げます。

だれでも、この山に向かって、

『動いて、海に入れ。』と言って、

心の中で疑わず、ただ、自分の言ったとおりに

なると信じるなら、そのとおりになります。

だからあなたがたに言うのです。

祈って求めるものは何でも、

すでに受けたと信じなさい。

そうすれば、そのとおりになります。」

♪ God is working for my good now , for my good , for my good ,

God is working for my good ,Yes,You really are! ♪

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>